

ちょっぴり旅ぷらす Vol. 1

～上海の夜景を楽しむ！

ホテル「ハイアット オン ザ バンド」付近
から見た黄浦江兩岸の夜景



海外旅行がちょっぴり楽しくなる、現地に溶け込んだANA海外支店スタッフならではの街のお薦め情報を、株主の皆様にご紹介する新コーナーです。第1回は上海支店スタッフからお届けします。

上海の夜景を楽しむ3つのスポット

ファンブージャン
黄浦江を挟んで、西側は旧租界時代のアールデコ調の建物^{ワイタン}が並ぶ上海一の観光スポット外灘、東側は高さ468mの東方明珠電視塔(テレビ塔)、同じく421mで88階建の金茂大廈、492mで101階建の上海環球金融中心(通称上海ヒルズ)^{ブートン}といった高層ビルがひしめく未来都市・浦東です。

昼も素晴らしいですが、何といても夜景は感動モノです！東岸の歩道^{ピンジャンダーダオ}(濱江大道)から見た西側の夜景は古き良き上海を感じさせ、外灘から見た東側の夜景は現代上海を象徴する華々しい美しさで、見ているだけでパワーをもらえます。また、黄浦江の北側に位置するホテルのハイアット オン ザ バンドからは、対照的な兩岸の夜景を一望することもできます。日本からのお客様が最も感動されるのが、上海の夜景です。



西側、外灘の夜景



東側、浦東新区の夜景

上海の夜景が 楽しめるスポット



上海雑記帳

とにかくデカイ！上海万博が、2010年5月に開幕

上海万博は、「より良い都市、より良い生活」をテーマに東京ドーム70個が入る328haの広大な敷地で開催されます。大阪万博の6,400万人を超える史上最多の7,000万人の入場者を見込む史上最大の万博です。現在、2万人の工事関係者が働いていますが、外観ができて上がっているパビリオンは中国館くらい。工事は急ピッチで進めるため、ピーク時には何と8万人にもなるそうです。スケールが違いますね。



建設が進む中国館

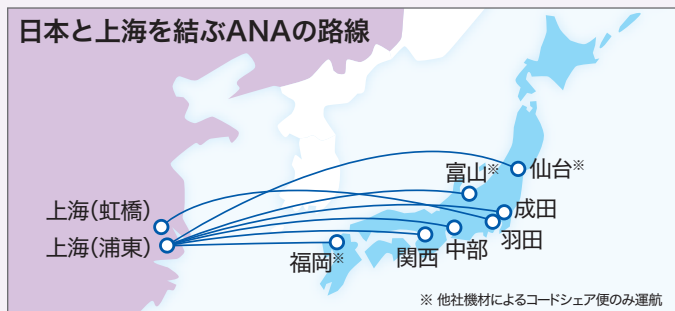
階が変われば値段も変わる？

小龍包で有名な豫園のお店の話です。この店では1階のテイクアウトから3階の円卓のレストランまで4カ所の売り場やレストランがありますが、階が上がるたびに店内が清潔になり、メニューが増え、行列が短くなり、同じものでも値段が上がっていきます。例えば豚肉小龍包は、1階では16個12元(170円)ですが、最上階では6個35元(500円)で、単価は何と7倍以上！それでも、このお店は各階で行列が絶えません。すべての階で食事をしてみましたが、どの階もそれぞれに満足感があるから不思議です。



1900年に創業した老舗、
南翔饅頭店

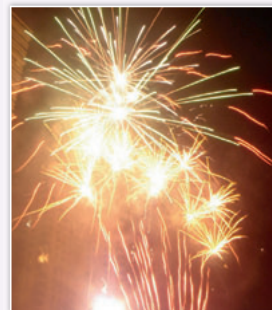
日本と上海を結ぶANAの路線



※ 他社機材によるコードシェア便のみ運航

大音響の爆竹と花火は上海の華

春節は旧暦の正月で、中華圏で最も大切な祝日です。過ぎ去る年の悪いことを吹き飛ばし、来る年の良いものを招き入れるために、街には爆竹と花火の爆音が響きわたります。その音は凄まじく、自宅で窓を閉め切ってテレビを大音量にしても聞き取れないことがあります。とても信じられないと思いますが…。ちなみに、春節と同じ理由で、引っ越しをする時には家で爆竹を鳴らすそうです。



大音響の花火はとても
きれいです！

あいさつは「ご飯は食べましたか？」

ある日のお昼過ぎのこと。職場の掃除をお願いしている年配の中国人女性から、「吃飯了嗎？(ご飯は食べましたか?)」と聞かれたので、「吃了!(食べましたよ!)」と張り切って答えました。次の日も、また次の日も「吃飯了嗎？」と聞かれたので、またかと思いつつも笑顔で「吃了!」と答えました。



ANA上海支店
石神 亮平

さすがに不思議に思い「なぜ彼女は、私が昼食を食べたかどうか気になるのか？ランチ後の自分はそんなに満足そうな顔をしているのだろうか？」と周りの中国人スタッフに聞いたところ、大爆笑。実は「吃飯了嗎？」は、昼食時に交わされる単なるあいさつだとのこと。中国では食へのこだわりが非常に強いので、あいさつでも食に関するものが広く話されるようになったのでしょう。

中国人スタッフによると、日本人のようにあいさつで天気を話題にすることはないそうです。普段何気なく交わすあいさつにも歴史や文化の違いがあるんですね。面白いと思うと同時に、自分自身を少し恥ずかしく感じた体験でした。